

Week of February 08 , 2026 - God's Children Cannot Sin!? Small Group Lesson 7

知り合う

自分が完全に「場違い」で、そこに属していないように感じる状況や環境に置かれたことはありますか？最終的にどのような行動をとりましたか？また、立ち去らずにどれくらいの時間耐えましたか？

聖句　ヨハネの手紙一 2:29-3:10（聖書協会共同訳）

声に出して読んでください：

29 あなたがたは、御子が正しい方だと知っているなら、義を行う者も皆、神から生まれていることが分かるはずです。3:1 私たちが神の子どもと呼ばれるために、御父がどれほどの愛を私たちにお与えくださったか、考えてみなさい。事実、私たちは神の子どもなのです。世が私たちを知らないのは、神を知らなかったからです。2 愛する人たち、私たちは今すでに神の子どもですが、私たちがどのようになるかは、まだ現されていません。しかし、そのことが現されるとき、私たちが神に似たものとなることは知っています。神をありのままに見るからです。3 神にこの望みを抱く人は皆、御子が清いように自分を清くするのです。4 罪を犯す者は皆、不法を行っています。罪とは不法のことです。5 あなたがたが知っているように、御子は罪を取り除くために現れました。御子には罪がありません。6 御子の内にとどまる人は皆、罪を犯しません。罪を犯す者は皆、御子を見たこともなく、知ってもいないのです。7 子どもたちよ、誰にも惑わされないようにしなさい。義を行う者は、御子が正しいように正しい人です。8 罪を犯す者は、悪魔から出た者です。悪魔は初めから罪を犯しているからです。神の子が現れたのは、悪魔の働きを滅ぼすためです。9 神から生まれた人は皆、罪を犯しません。神の種がこの人の内にとどまっているからです。この人は神から生まれたので、罪を犯すことができません。10 これによって、神の子どもと悪魔の子どもとの区別がはっきりします。義を行わない者は皆、神から出た者ではありません。きょうだいを愛さない者も同様です。

簡潔に内容をもう一度確認してください。どのような励ましや挑戦、慰めなどを与えられますか?

学び

今日の聖書箇所に基づいて、次の質問を一緒に考えましょう。

1. 1節でヨハネが指し示している、私たちの特定の身分とは何ですか。私たちと自分たちとの区別がつかない人たちとは誰のことでしょうか。また、それはなぜですか。（ローマ 3:23）

2. 3節によると、自分を清くするために必要なことは何ですか。キリストの内に罪はないので（5節）、6節によると、どうすれば罪の内にとどまらないでいられるでしょうか。

3. 義を行う人は何をしますか。信者が罪を犯すことはあり得るでしょうか。（ヨハネー 1:8）また、罪人には何が不可能ですか。それはなぜでしょうか。（7-8節、ローマ 8:7-8）

4. 信者と神との関係を表すために、どのような言葉が使われていますか？（未信者と悪魔との関係について8-9節）信者には何がなされたのでしょうか。

5. 10節でヨハネは私たちの交わりをどのように定義していますか。なぜヨハネは、この二種類のタイプの人々を説明するために、家族を表す表現を用いたのでしょうか。

分かち合い

自分が「神の子」であると知っていることは、単に「良い人」になろうとしている人と比べて、罪への向き合い方にどのような違いがあるのでしょうか？また、自分がすでに勝利を得ているということを、どのようにして知ることができるのでしょうか。

罪から立ち返ることを何と呼びますか？また、悔い改めるメンバーと、そうでないメンバーに対して、教会はそれぞれどのように接するべきでしょうか。（マタイによる福音書 18:15-17、ガラテヤの信徒への手紙 6:1 ）

具体的な祈りの課題を分かち合い、互いに仕え合いましょう。